

「榎原市スポーツ施設計画（案）」 概要版

背景と目的

スポーツの推進

- 平成 23 (2011) 年に制定された「スポーツ基本法」に基づき、平成 27 (2015) 年に「榎原市スポーツ推進計画」を策定し、スポーツの推進に取り組めます。

人口の減少と行政サービスのあり方

- 全国的に少子高齢化・人口減少社会が到来し、本市においても人口減少が予想されています。
- 人口減少に伴う税収の減少や少子高齢化による社会福祉関連経費の増加が見込まれています。
- 市民ニーズは多様化・高度化しており、今後はより効率的な行政サービスの提供やコスト抑制が求められ、行政サービスを「量の確保」から「質の向上」へと転換させることが重要です。
- 公共施設等についても、限られた財源の中で効率的・効果的な維持保全や運営が求められます。

財政状況

- 本市の経常収支比率は 97.4% で、全国類似 50 市中 39 位と、相対的に財政構造の弾力性が低くなっています。
- また、財政力指数は 0.72 で同じく 31 位、将来負担比率は 55.0% で同じく 43 位と相対的に財政力は低くなっています。
- 今後、財政状況の改善のため、健全な財政運営に向けた行財政の効率化や既存事業の見直し、歳入確保等に努める必要があります。

公共施設の総合的・計画的な管理の推進

- 本市では、公共施設等の状況を把握し、限られた財源の中で総合的・長期的視点に立って施設の適切な維持保全・企画・活用を行うため、平成 28 (2016) 年に公共施設の管理の方針を示す「榎原市公共施設等総合管理計画」を策定しました。
- こうした背景を踏まえ、スポーツ施設のあり方や配置、有効活用について検討し、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するため、「榎原市スポーツ施設計画」を策定しました。

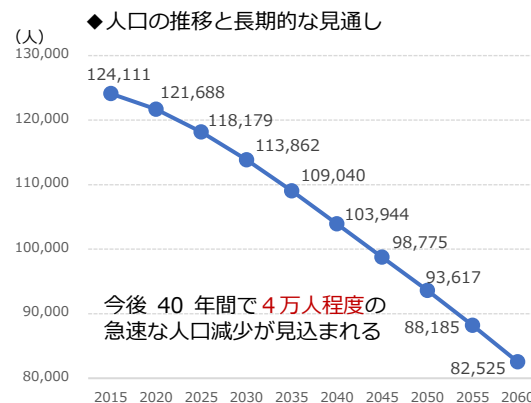
計画期間

- 本計画は令和 4 (2022) 年度から令和 13 (2031) 年度までの 10 年間の計画とし、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて柔軟に計画の見直しを行うこととします。
- ただし、中長期的な視点から検討するために 30 年間の計画期間をとりまとめます。

スポーツ基本法

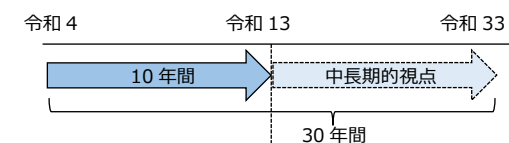
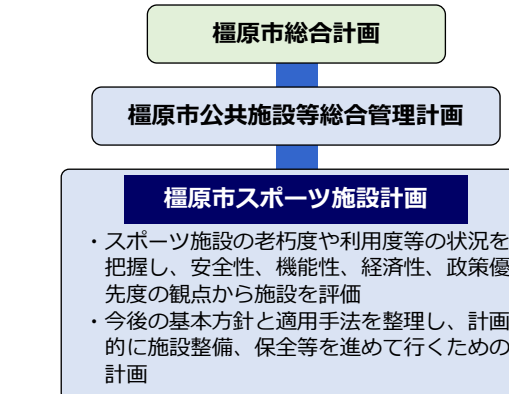
榎原市スポーツ推進計画

- 基本理念
『市民のだれもがスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らせるまち「かしはら」』
- スポーツを「する」活動の推進
 - スポーツを「支える」活動の推進
 - スポーツを「応援する」活動の推進
 - スポーツ活動の礎となる基盤整備



財政指数	類似 50 市中順位
経常収支比率 97.4%	39 位
将来負担比率 55.0%	43 位
財政力指数 0.72	31 位

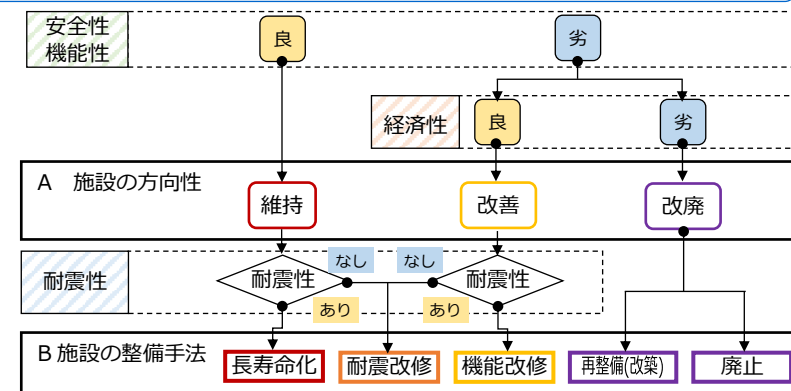
(平成 30 年度末)



対象施設の方向性、基本方針、適用手法検討の流れや評価基準

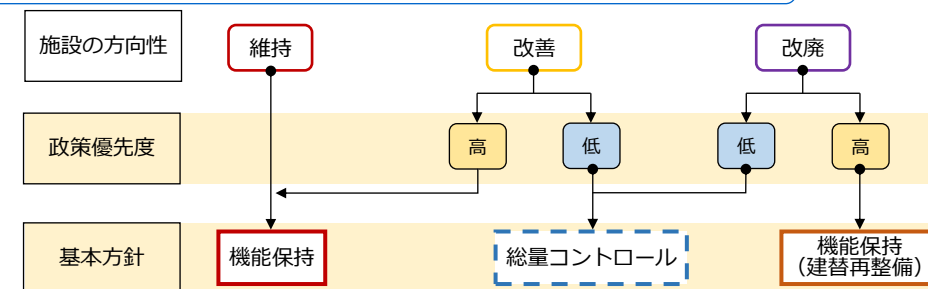
各施設の評価は、「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」(スポーツ庁)に基づき行っています。

施設の方向性検討の流れ (現況評価) (一次評価)



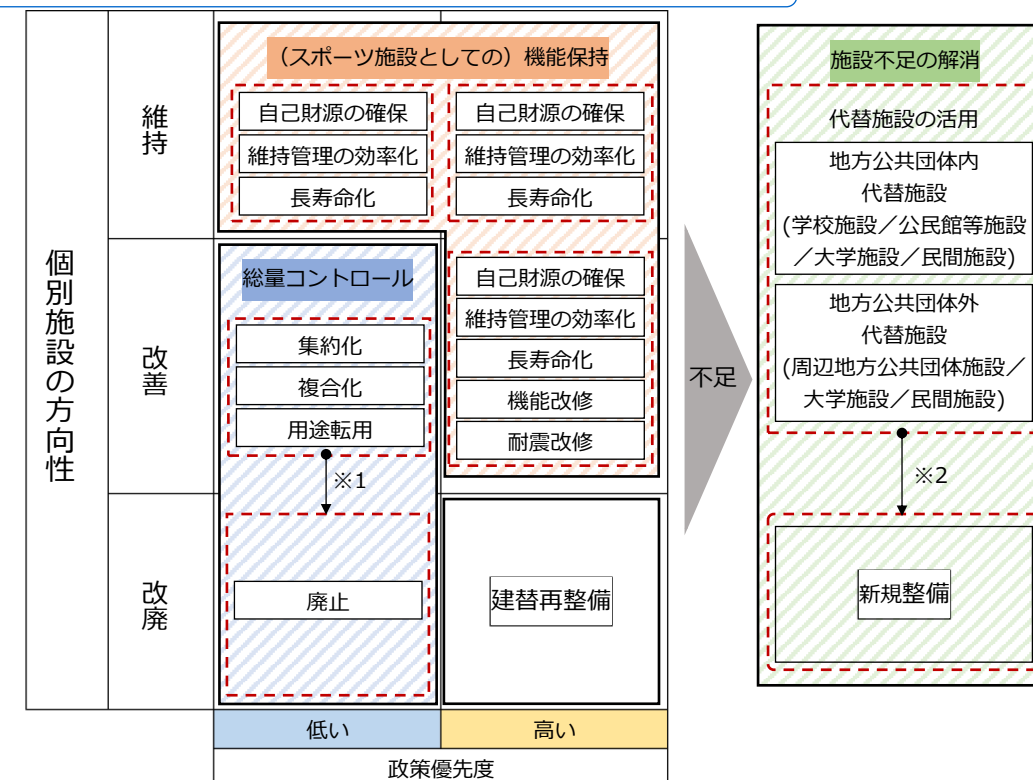
- 施設の「安全性・機能性」、「経済性」、「耐震性」といった現状情報を収集・整理します。
- これら情報を元に、各施設の方向性や整備手法について検討します。

施設の基本方針検討の流れ (環境評価) (二次評価)



- 施設の利用状況、アンケート等によるニーズ、防災上の位置づけ等施設の環境に関する情報を収集・整理します。
- これらの情報を元に、各施設の基本方針を検討します。

適用手法検討の考え方 (個別施設計画)



- 一次評価での整備手法、二次評価の基本方針を踏まえ、各施設の具体的な方向性を定めます。

※1 「施設分布」等に基づく地域性(必要性やニーズ等)を勘案し、集約化・複合化・用途転用の可能性がない場合。
 ※2 「施設分布」等に基づく地域性を勘案し、代替施設となり得る施設が周辺に存在しない場合や代替施設を活用しても不足する場合。

対象施設の方向性・基本方針・適用手法一覧

施設名		榎原運動公園								中央体育館	香久山体育館		万葉の丘スポーツ広場
		総合プール		軟式野球場	ソフトボール場	硬式野球場	テニスコート	多目的グラウンド	屋根付運動場	アリーナ	アリーナ	トレーニングルーム	テニスコート
		レジャープール	競技用プール										
1次評価	安全性	劣	劣	劣	劣	良	良	良	良	劣	良	良	良
	機能性	劣	劣	良	良	良	良	良	良	劣	良	劣	良
	設備の方向性	改廃	改廃	改善	改善	維持	維持	維持	維持	改廃	維持	維持	維持
	設備の整備手法	再整備又は廃止	再整備又は廃止	機能改修	機能改修	長寿命化	長寿命化	長寿命化	長寿命化	再整備又は廃止	長寿命化	長寿命化	長寿命化
2次評価	政策優先度	低	低	高	低	高	高	高	高	高	高	低	高
	基本方針	総量コントロール	総量コントロール	機能保持	総量コントロール	機能保持	機能保持	機能保持	機能保持	機能保持	機能保持	総量コントロール	機能保持
個別施設評価	適用手法	廃止	廃止	機能改修 維持管理効率化	集約化	長寿命化 維持管理効率化	長寿命化 維持管理効率化	長寿命化 維持管理効率化	長寿命化 維持管理効率化	建替再整備	長寿命化 維持管理効率化	集約化検討	長寿命化 維持管理効率化
	今後の方向性	・跡地利用については、駐車場整備、スポーツ施設その他、公園機能にも重点を置く新たな魅力創造拠点の創出について検討	・跡地利用については、駐車場整備、スポーツ施設その他、公園機能にも重点を置く新たな魅力創造拠点の創出について検討	・水はけの悪さ改善や、防球ネットの高さ不足への対応が急がれる。	・今後10年前後で軟式野球場への集約化について検討	・施設からなるべく近い場所に更衣室やシャワー室を整備するなど、施設利用者の満足度を高める整備を検討	・更衣室やシャワー室の改修など、施設利用者の満足度を高める整備を検討	・クラブハウスや観覧席等の整備を進める	・定期的な人工芝の張替えを想定する	・老朽化により著しく劣化した状態にあるため、10年以内の可能な限り早い時期での建替えを目指す	・夏場に室温が高くなるが、空調の新設を想定した構造ではないため、空調新設は困難であり、扇風機の配置など可能なかぎりの対策を実施	・民間との差別化を図ったサービス内容や運用方法、今後の利用者推移等を勘案しながら、集約化も含め様々な手法について検討	・クラブハウス新設など施設利用者の満足度を高める整備について検討

施設名		万葉の丘スポーツ広場		曾我川緑地体育館				曾我川緑地		ひがしたけだドーム	東竹田近隣公園	シルクの杜	
		7-11・弓道(遠的)場	パターゴルフ場	アリーナ	武道場	トレーニングルーム	スポーツスタジオ	テニスコート	多目的グラウンド	アリーナ	多目的広場	トレーニングルーム・温浴施設	スポーツスタジオ
1次評価	安全性	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良
	機能性	劣	劣	良	良	劣	良	良	良	良	良	良	良
	設備の方向性	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持
	設備の整備手法	長寿命化	長寿命化	長寿命化	長寿命化	長寿命化	長寿命化	長寿命化	長寿命化	長寿命化	長寿命化	長寿命化	長寿命化
2次評価	政策優先度	低	低	高	高	低	高	高	高	高	高	高	高
	基本方針	総量コントロール	総量コントロール	機能保持	機能保持	総量コントロール	機能保持	機能保持	機能保持	機能保持	機能保持	機能保持	機能保持
個別施設評価	適用手法	用途転用検討	用途転用検討	長寿命化 維持管理効率化	長寿命化 維持管理効率化	集約化検討	長寿命化 維持管理効率化	長寿命化 維持管理効率化	長寿命化 維持管理効率化	長寿命化 維持管理効率化	長寿命化 維持管理効率化	長寿命化 維持管理効率化	長寿命化 維持管理効率化
	今後の方向性	・新たな有効活用方法について、用途転用も含め様々な手法を検討	・新たな有効活用方法について、用途転用も含め様々な手法を検討	・さまざまな経年劣化が現れてくる時期にあり、今後、施設の長寿命化を図るため大規模な修繕を計画し、実施していく必要がある	・柔道、剣道、合気道などに使用される武道場であるが、武道以外にも多様な用途での活用を検討	・民間との差別化を図ったサービス内容や運用方法、今後の利用者推移等を勘案しながら、集約化も含め様々な手法について検討	・スポーツスタジオとしての用途のみでなく、多様な用途での活用を検討	・利用者満足度が比較的高い状況にあり、一層の利用者満足度向上を目指す	・グラウンドの質の向上、日除け、ベンチ、トイレ、更衣室の設置など施設利用者の満足度を高める整備について検討	・さまざまな経年劣化が生じ始める時期にあり、今後、施設の長寿命化を図るため定期修繕を計画する必要がある	・公園の広場として利用されている無料施設で、イベント会場等の適性が見込めるため、効果的な活用を検討	・現在の高い利用者満足度を維持し、より一層高める取組について検討	・現在の高い利用者満足度を維持し、より一層高める取組について検討